

〈議長就任あいさつ〉

長崎県議会議長にご選任いただきました徳永達也でございます。
 新型コロナウイルス感染症は、法律上の位置付けが5類に移行し、県民生活の下支えと県経済の活性化に切れ目のない取組が必要であります。また、本県の最重要課題であります人口減少対策について、県民の皆さんが、希望どおりに結婚、妊娠・出産し、安心して子育てができる社会の実現に向けた取組の強化も必要であります。
 このほかにも、九州新幹線西九州ルートとの整備、特定複合観光施設(IR)区域整備の実現、離島及び過疎地域の振興など、多くの課題を抱えています。
 今後、これらの課題解決に取り組み、県勢発展のために誠心誠意努力してまいりますので、お一人お一人のご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

〈副議長就任あいさつ〉

長崎県議会副議長にご選任いただきました山本由夫でございます。
 県政においては、人口減少対策をはじめとした多くの重要な課題を抱える中で、議会の果たすべき役割は大きく、その責任を感じております。
 もとより微力ではありますが、徳永議長を支え、県政の課題解消と、議会の円滑な運営に取り組みも所存でありますので、議員の皆様、県民の皆様方のご指導、ご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

令和5年5月臨時会、6月定例会が開催され、活発な論議が交わされました

知事提出の議案	議員等提出の案件
・予算 2件(可決)	・発議 1件(可決)
・条例 8件(可決)	・議員派遣 2件(可決)
・事件 5件(可決)	・意見書 2件(可決)
・人事 2件(同意)	
・専決 17件(承認)	
	請 願
	・2件(採択1件、不採択1件)

可決された意見書

- 地方財政の充実・強化を求める意見書
- 生涯を通じた国民皆歯科健診の実現を求める意見書

採択された請願

- 長崎県における喫煙対策に関する請願書

常任委員会

総務委員会 委員長/坂口 慎一

【質問】「Uターン」の促進」に関し、移住者は、年々増加傾向となっているものの、令和4年度の目標2,400人に対し、実績は1,876人と目標達成には至っていない。令和7年度の目標達成に向けてどのように取り組むのか。
 【答弁】県や市町で実施する移住相談会やホームページでのわかりやすい情報発信に努めるとともに、市町との連携をさらに強化しながら目標達成に向けて取り組んでいきたい。
 【主な論議事項】長崎県高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に係る信号機等に関する基準を定める条例/特定複合観光施設IR区域整備の推進/サイバー犯罪の取組/九州新幹線西九州ルート/長崎空港の運用時間延長・24時間化に向けた取組 等

文教厚生委員会 委員長/千住 良治

【質問】今年卒業生の就職率が、高校は100%、大学は99.5%と高いのに対し、県内就職率については、共に前年度から減少している。県内就職率の向上に対し県の取組は。
 【答弁】若者への地元の魅力や暮らしやすさの情報発信を引き続き行うとともに、それぞれに配置されている県内就職推進員・支援員と、より一層連携を図りたい。また、学生と県内企業との交流を増やすため、インターシップや企業説明会・見学会の開催や、企業情報の開拓等の取組を行い、県内就職率の向上を推進してまいりたい。
 【主な論議事項】教職員の「夏休み充実宣言」/離島留学制度/災害事業コーディネーターの体制整備/保育士の確保対策 等

観光生活建設委員会 委員長/清川 久義

【質問】川口アパート建替事業における財政負担の軽減の実現のためPFI事業を実施することがあるが、これまで住宅供給公社が担っていた指定管理を、別立てで実施する理由は何か。また、どのようなメリットがあるのか。
 【答弁】川口アパートについては、公社が行っている維持管理等に加え、予防保全を新たに取入れることによる要件に付した新たな契約。これにより、70年間の比較でコストダウンが図られる。
 【主な論議事項】G7長崎保健大臣会合開催の結果と課題/コロナ禍前と比較した観光客の状況/「動物の殺処分ゼロ」予算の使途及び福祉部局との連携/交通局「運賃無料デー」 等

農水経済委員会 委員長/鶴瀬 和博

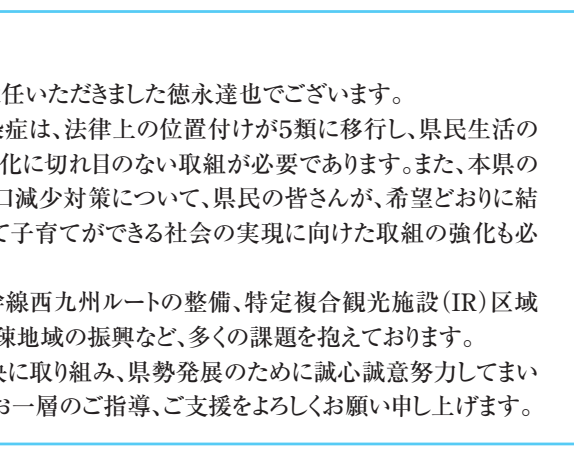
【質問】豚熱予防注射液管理手数料が新設されるが、国内における豚熱の発生状況と、手数料の状況については、どのようなになっているのか。
 【答弁】豚熱については、平成30年9月に26年ぶりに国内で発生し、令和5年6月1日までに18件86事例が発生し、約35万頭が殺処分されている。また、手数料については、本県は九州各県と同額の1頭当たり70円となっているが、管理費や光熱費などの地域的な事情により、全国的には55円から90円となっている。
 【主な論議事項】産業振興財団における民間人の登用/過疎地域での食料品製造業支援/魚市場の荷捌き作業労働者の人手不足/ひわの県内での消費拡大 等

予算決算委員会

【質問】U18マイナカード生活応援事業費」に関し、マイナカードの取得率が低い18歳以下に対して、マイナカードの利活用、取得促進を図るとあるが、どのくらいの取得率を見込んでいるか。
 【答弁】本県の18歳以下のマイナカードの取得率は65.1%となっており、まずは県全体の平均取得率程度の70%を目指すことを考えている。
 【主な論議事項】こども食堂緊急支援事業費/フードバンク活動整備備入等支援事業費/企業ふるさと納税に係る寄附金/スクールバスへの安全装置の整備/有明海等赤潮対策緊急支援事業 等

『がん検診受診率向上のための街頭キャンペーン』を実施しました!

県議会は、がん検診の受診率向上の啓発活動を行っており、今回で12回目の実施となりました。本県のがん死亡率は残念ながら全国ワースト9位ですが、がん検診を受診することにより、生存率が大幅に改善することが期待されます。命を守るためには、がんの早期発見・早期治療が大変重要です。健康な体で長生きできるよう、年に1回は、がん検診を受けましょう!!



令和5年5月臨時会、6月定例会が開催され、活発な論議が交わされました

東北・佐世保地域の振興対策

山田 朋子 (佐世保市・北松浦郡/改革21)

【質問】世界遺産の島である黒島へ先端技術を活用した自動運転車両を導入する考えは。
 【答弁】黒島への導入は、公共交通の空白地域でもあり、観光客や住民の移動支援の面からも有意義と思われるが、一方で、黒島が国の重要な文化的景観に選定されていることによる各種規制や、住民の理解など様々な課題がある。導入の検討に当たっては、地元自治体等の意向を踏まえて、今後の対応について研究してまいりたい。

離島留学制度

白川 結美 (長崎市/改革21)

【質問】離島留学制度における県が各島に配置している離島留学支援員の要件と役割は。
 【答弁】離島留学支援員の資格要件は特にないが、生徒との面談や親類の訪問だけでなく、地域と連携や広報活動など、幅広い業務を担っている。検討部会での「生徒のSOSをキャッチする」という観点で、専門的な知識やスキルを有する人材が必要であるなどのご意見を踏まえ、今後の支援員の業務の見直しや分厚い支援体制の構築について検討してまいりたい。

県議市長候補者への政治活動について

中山 功 (長崎市/県民会議)

【質問】3月11日土曜日、大瀬戸町、大島町、西彼町等の行政視察と、西彼町白似山公民館において、県議の後援会集会に出席した事実はあるか。
 【答弁】様々な地域の視察を行い、そのうえで県政を担っていくこととしており、その一環として3月11日に西海市の行政視察を公務として実施した。なお、政治家個人としての活動については、答弁を差し控させていただきます。

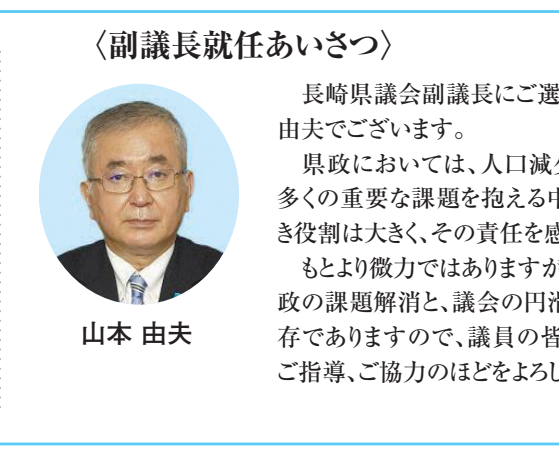
不登校児童生徒対策

本多 泰邦 (長崎市/公明党)

【質問】不登校児童生徒の新たな支援事業の進捗状況は。また、保護者の悩みにも対応できる仕組みづくりができないか。
 【答弁】県は美術館等の施設と連携した13のプログラムを準備し、10市町が県のプログラムを活用している。市町独自のメニューを実施することとしている。また、保護者の悩みへの対応としては、希望に応じて、現地にスクールカウンセラーを派遣することにより、専門的な視点から助言を行うことが可能となっている。

常任委員会・議会運営委員会並びに特別委員会委員名簿 (令和5年7月14日現在)

委員会	委員長	副委員長	委員
総務委員会 (11名)	坂口 慎一	中村 一三	田中 愛国/小林 克敏/外間 雅広/山口 初寛/前田 哲也/大場 博文/齋藤 敦子/山村 健志/大倉 聡
文教厚生委員会 (12名)	千住 良治	山下 博史	堀江 ひとみ/浅田 ますみ/深堀 ひろし/吉村 洋/山本 由夫/宮本 法広/堤 典子/白川 結美/富岡 孝介/湊 亮太
観光生活建設委員会 (11名)	清川 久義	中村 俊介	溝口 芙美雄/瀬川 光之/川崎 祥司/ごう まなみ/松本 洋介/坂本 浩/中村 泰輔/初手 安幸/虎島 泰洋
農水経済委員会 (11名)	鶴瀬 和博	まきやま 大和	中山 功/山田 朋子/中島 浩介/宅島 寿一/近藤 智昭/石本 政弘/本多 泰邦/大久保 堅太/畑島 晃貴
予算決算委員会 (45名)	吉村 洋	白川 結美	議長・正副委員長を除く全議員



令和5年5月臨時会、6月定例会が開催され、活発な論議が交わされました

島原半島ジオパークにおける観光資源の活用

大場 博文 (島原市/自由民主党)

【質問】島原半島ジオパークの中核をなす雲仙・普賢岳における砂防施設等は、噴火対策の模範となる先進的なインフラである。その状況をわかりやすく発信し、後世に伝えていくことは重要であり、現地を巡るインフラツーリズムに、国や市など関係機関と連携し、知恵を出し合い取り組んでまいりたい。

航空機関連産業の振興及びスタートアップ支援

中村 俊介 (長崎市/自由民主党)

【質問】成長が見込まれる航空機関連産業をさらに発展させるため、今後どのようなことに取り組んでいくか。
 【答弁】県ではさらなる県外需要の獲得へ向け、これまでの企業間連携の支援に加え、国内大手重工等との直接取引を目指し、新規参入や新規受注などを支援することとしており、引き続き、航空機関連産業のサプライチェーンの強化に積極的に取り組んでまいりたい。

長崎県における離島の役割と価値について

畑島 晃貴 (対馬市/自由民主党)

【質問】長崎県にとつての離島の役割とその価値をどのように捉えているか。
 【答弁】離島は、我が国の領域や排他的経済水域等の保全、また美しい自然環境や伝統文化等の地域資源を有する「癒しの空間」としての役割を果たしている。離島を取り巻く環境は厳しいが、地域の特性や資源を生かしながら、デジタル化や再生エネルギーの利用など、新たな試みを積極的に推進し、困難な課題を克服してチャンスに変えていくことが重要だと考えている。

全国和牛能力共進会へ向けての取組

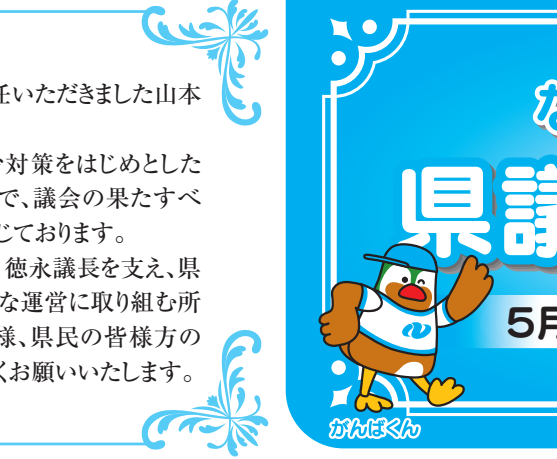
大久保 堅太 (平戸市/自由民主党)

【質問】昨年開催された全国和牛能力共進会鹿児島大会では、前回大会を上回る優等賞を獲得するなど、本県の特産品が着実に進んでいくことが確認された。しかしながら、日本一の獲得には至らなかったため、4年後の北海道大会に向け肉質向上のための肥育管理指導の強化など、関係団体や市町と丸ごと取り組んでまいりたい。

離島における雇用機会拡充事業

近藤 智昭 (南松浦郡/自由民主党)

【質問】社会減税策として大きな役割を果たしてきた雇用機会拡充事業は、島内事業者による活用が一定進んだことから、令和4年度の事業採択は115件、雇用計画人数は164人と、令和2年度以降、目標の200名に届いていない状況が続いている。今後も雇用の場を創出していくため、市町や関係機関と連携しながら、島外に向けた周知に積極的に取り組んでまいりたい。



令和5年5月臨時会、6月定例会が開催され、活発な論議が交わされました

石木ダム令和7年度完成

田中 愛国 (佐世保市・北松浦郡/自由民主党)

【質問】石木ダムについては、令和3年9月から、ダム左岸の掘削の本体工事に着手しており、それと並行して、付帯道路工事など着手可能な箇所にてできる限り工事着手し、切れ目なく工事を進めていくことであり、令和7年度の完成に向けて努力してまいりたい。

空家の現状

坂口 慎一 (長崎市/自由民主党)

【質問】空家等対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律が可決されたが、今後、県としてどのように対策を進めていくか。
 【答弁】改正空家法においては、特定空家化の未然防止や除却の円滑化について盛り込まれた。県では、これまで空家対策協議会において、先進事例の紹介や連携してきたが、改正法による新たな取組が円滑に実施されるよう、引き続き技術的な助言を行ってまいりたい。

産業界人材の育成・確保

千住 良治 (長崎市/自由民主党)

【質問】誘致企業が求める人材とのマッチングを図るため、今後、県立高校における産業界人材育成にどのように取り組むのか。
 【答弁】設計、製造、デジタル分野等における専門性の高い人材を育成していくことが今後ますます重要になってくる。工業高校において、半導体の基礎から応用・製造方法までを総合的に学習できる新たな科目の開設を検討するなど、時代のニーズに即した人材の育成に努めてまいりたい。

全国和牛能力共進会へ向けての取組

大久保 堅太 (平戸市/自由民主党)

【質問】令和5年全国和牛能力共進会鹿児島大会では、前回大会を上回る優等賞を獲得するなど、本県の特産品が着実に進んでいくことが確認された。しかしながら、日本一の獲得には至らなかったため、4年後の北海道大会に向け肉質向上のための肥育管理指導の強化など、関係団体や市町と丸ごと取り組んでまいりたい。

子ども子育て・若者支援対策特別委員会

堤 典子 (長崎市/自由民主党)

【質問】子ども子育て支援費助成金の取組は、どのくらいの取組率を見込んでいるか。
 【答弁】子ども子育て支援費助成金の取組率は、令和4年度の取組率は65.1%となっており、まずは県全体の平均取得率程度の70%を目指すことを考えている。
 【主な論議事項】こども食堂緊急支援事業費/フードバンク活動整備備入等支援事業費/企業ふるさと納税に係る寄附金/スクールバスへの安全装置の整備/有明海等赤潮対策緊急支援事業 等



ながさき 県議会だより

5月臨時会・6月定例会

令和5年5月臨時会、6月定例会が開催され、活発な論議が交わされました

石木ダム

田中 愛国 (佐世保市・北松浦郡/自由民主党)

【質問】石木ダムについては、令和3年9月から、ダム左岸の掘削の本体工事に着手しており、それと並行して、付帯道路工事など着手可能な箇所にてできる限り工事着手し、切れ目なく工事を進めていくことであり、令和7年度の完成に向けて努力してまいりたい。

産業界人材の育成・確保

千住 良治 (長崎市/自由民主党)

【質問】誘致企業が求める人材とのマッチングを図るため、今後、県立高校における産業界人材育成にどのように取り組むのか。
 【答弁】設計、製造、デジタル分野等における専門性の高い人材を育成していくことが今後ますます重要になってくる。工業高校において、半導体の基礎から応用・製造方法までを総合的に学習できる新たな科目の開設を検討するなど、時代のニーズに即した人材の育成に努めてまいりたい。

全国和牛能力共進会へ向けての取組

大久保 堅太 (平戸市/自由民主党)

【質問】昨年開催された全国和牛能力共進会鹿児島大会では、前回大会を上回る優等賞を獲得するなど、本県の特産品が着実に進んでいくことが確認された。しかしながら、日本一の獲得には至らなかったため、4年後の北海道大会に向け肉質向上のための肥育管理指導の強化など、関係団体や市町と丸ごと取り組んでまいりたい。

子ども子育て・若者支援対策特別委員会

堤 典子 (長崎市/自由民主党)

【質問】子ども子育て支援費助成金の取組は、どのくらいの取組率を見込んでいるか。
 【答弁】子ども子育て支援費助成金の取組率は、令和4年度の取組率は65.1%となっており、まずは県全体の平均取得率程度の70%を目指すことを考えている。
 【主な論議事項】こども食堂緊急支援事業費/フードバンク活動整備備入等支援事業費/企業ふるさと納税に係る寄附金/スクールバスへの安全装置の整備/有明海等赤潮対策緊急支援事業 等

『がん検診受診率向上のための街頭キャンペーン』を実施しました!

県議会は、がん検診の受診率向上の啓発活動を行っており、今回で12回目の実施となりました。本県のがん死亡率は残念ながら全国ワースト9位ですが、がん検診を受診することにより、生存率が大幅に改善することが期待されます。命を守るためには、がんの早期発見・早期治療が大変重要です。健康な体で長生きできるよう、年に1回は、がん検診を受けましょう!!